

研究実施のお知らせ

2024年1月15日 ver.2.0

研究課題名

循環器内科精査入院から心臓血管外科手術前の体重変動が術後成績に及ぼす影響について

研究の対象となる方

2018年4月1日から2023年3月31日までに島根大学医学部附属病院、心臓血管外科で待機的に開心術を受けられた方。なおかつ手術前に循環器内科で検査入院を行った方。

研究の目的・意義

本研究の目的は、待機的に開心術を施行した方において、術前検査入院時から手術前の体重変動が手術後に及ぼす影響を明らかにすることです。

心不全では体重変動は重要な評価項目です。体重増加は体液貯留の徴候として、心不全の増悪が示唆されます。一方体重減少も心臓血管外科では開心術を施行した方で6カ月前に10%の体重減少があると術後在院日数に影響を及ぼします。つまり、心臓手術を受けられる方にとって手術前後での体重増加、減少ともに重要な予後予測因子です。一方、リハビリテーションにおいても、体重増減は重要な因子であると考えられますが、一定の見解は得られていません。そのため、本研究では、心臓血管外科で待機的な手術を受けた方を対象に手術前の体重変動が術後成績に及ぼす影響を検討することを目的としています。これらのことが明らかとなれば、手術前の管理体制の向上や患者さんへの説明、リハビリテーションなどに活かすことができ、より良い医療を提供できると考えられます。

研究の方法

この研究では島根大学医学部附属病院の電子カルテ内に記録されている方の年齢や身長・体重といった個人データと、手術後入院期間や手術後ICU滞在期間、といった手術後に関連するデータや手術前後での採血結果と心臓超音波検査などの医療データを用います。診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加することはありません。研究対象の患者さんの情報は島根大学医学部リハビリテーション部内のパソコンに保管され厳重に管理されます。また、データは個人情報識別できない状態で収集するため個人が特定されることはありません。大阪保健医療大学とのデータ共有方法はパスワード付きのエクセルファイルをメールで送付し共有します。

研究の期間

2024年4月26日～2026年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究代表者：中尾珠里

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部

共同研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院

大阪保健医療大学

[提供担当者]

中尾珠里

小川真人

「機関の長」

石原俊治

石倉隆

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：中尾珠里

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457 FAX 0853-20-2305